



# たまねぎ



発行日：令和6年2月6日

## 1. 卸売価格の動向

○207円/kg（2月3日）

➤ 平年比：151%

○2月の価格見通し

高値水準で推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

## 2. 小売価格の動向

○380円/kg（1月全国平均）

➤ 前月比：103%、平年比：154%

➤ 東京：310円（3玉）

➤ 大阪：87円（1玉）

○特売店舗数／調査店舗数

➤ 東京：2/20（前月4/20）

➤ 大阪：4/10（前月3/10）

（機構調べ）

## 3. 家計消費動向

○403g/人（12月全国平均）

➤ 前月比：101%

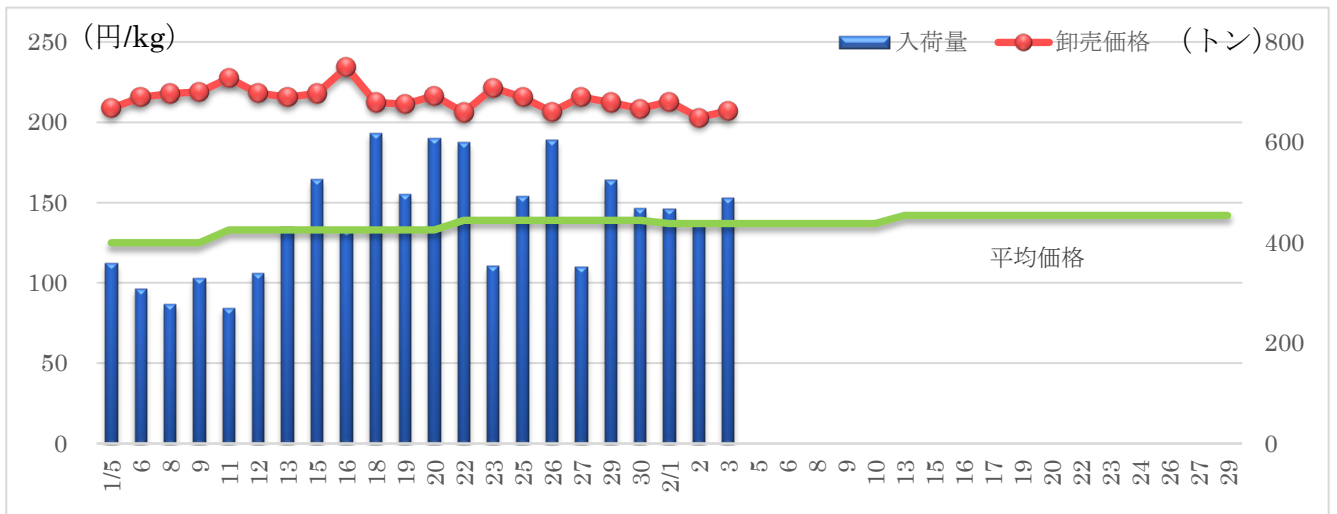
➤ 前年同月比：91%

○5,037g/人（2022年年間）

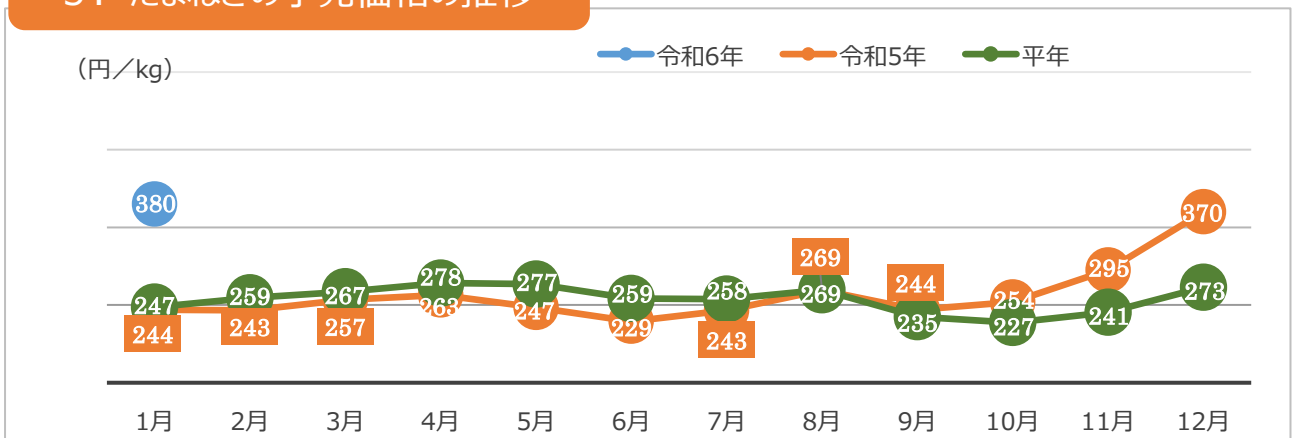
➤ 前年比：88%

（総務省統計局家計調査）

## 4. たまねぎの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



## 5. たまねぎの小売価格の推移

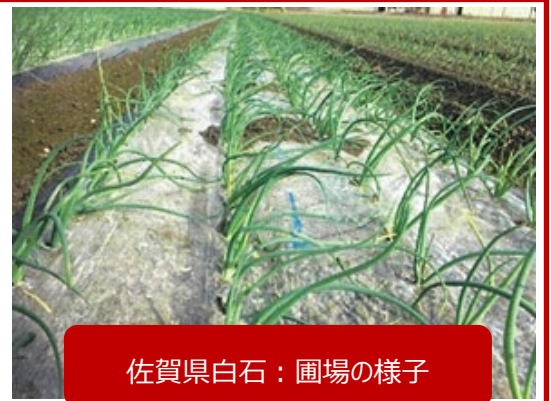


## 6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
静岡県浜松 (12/12)	増加	やや良	平年並み	—
愛知県碧南 (12/19)	前年並み	—	平年並み	—
香川県三豊 (12/4)	増加	—	平年並み	—
愛媛県西条市 (12/14)	前年並み	平年並みを見込む	平年並み	—
佐賀県白石 (12/15)	減少	平年並み	早い ～平年並み	—

※特記ない場合は平年比。( ) 内は調査日。

(機構調べ)



佐賀県白石：圃場の様子

## 7. 向こう1ヶ月の気象情報 (02/03~03/01)

		週別の天候		
2/03~2/09		北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 東日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。		
2/10~2/16		北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。		
2/17~3/01		北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。		
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	低10 並30 高60% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	低10 並30 高60% 高い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み

(気象庁 1カ月予報)

## 8. 輸入動向 (生鮮たまねぎ)

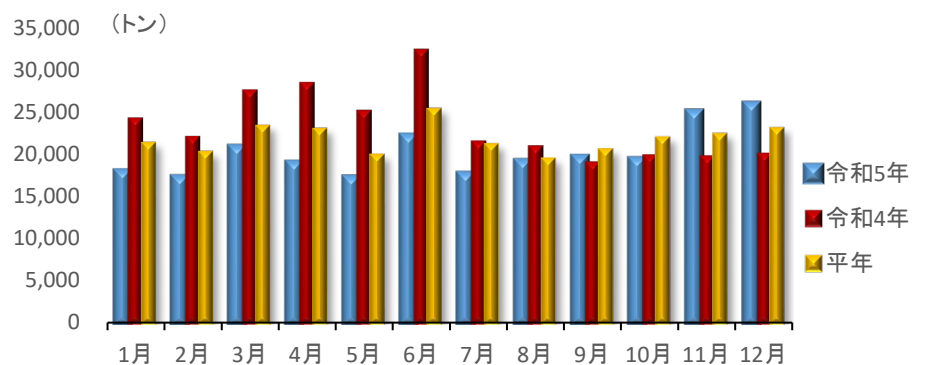
○25,916 t (12月輸入量)

➤ 前年同月比：129%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 23,867トン
- 2位 米国 1,760トン
- 3位 オランダ 185トン

(財務省貿易統計)



## 9. 一口メモ

1月は、北海道産が高温干ばつの影響から、不作でやや小玉傾向となったことから、市場入荷量が伸びず、価格は平年を上回る高値となりました。

2月は、貯蔵ものの北海道産が高温干ばつの影響による不作で、やや小玉傾向となっていることから、市場入荷量に大きな伸びはなく、価格は平年を上回る見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。  
詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793